

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	介護保険計画策定・趣旨普及事業		コード	介護保険課介護係
			02-01-05-03	担当者 玉野直美
事業実施期間	平成12年4月～(実質平成11年10月)		電話	64-1828
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目	介護保険		
	施策	地域密着型サービスの創設		

事業について	
目的	介護保険事業計画を策定し、各年度の介護保険サービスの見込み等をたてるとともに、介護保険制度について市民への周知を図る。
対象(誰のために)	要介護認定・要支援認定者及び介護者
内容	3年ごとの介護保険事業計画策定にあたり、委員会を開催し事業計画の策定及び事業の実施状況について意見をいただく。また広報、パンフレット等により制度の周知を図る。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
策定委員会回数	5回		
広報掲載回数	3回		
パンフレットの種類	7種		
パンフレットの部数	20,000部		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,324	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	11,153	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	12,477	市債	12,477	合計	0	市債	0
			一般財源等				一般財源等	

必要人員	1.36	人		人
結果指標①	策定委員会回数			
結果指標量	5			
単位	回			
対前年比	—		0.00%	
事業費	279,500	円		円
単当たりコスト①	55,900	円		円
結果指標②	パンフレットの部数			
結果指標量	20,000			
単位	部			
対前年比	—		0.00%	
事業費	3,042,000	円		円
単当たりコスト②	152	円		円

事業の成果			
成果指標名	パンフレットの部数	式又は説明	被保険者を対象に作成、配布したパンフレットの部数
成果指標量	17年度 20,000		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	20,000	到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：介護保険法第117条
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	今年度は平成18年度から平成20年度までの3か年の事業計画について、委員会を開催しご意見をいただき計画を策定することができました。また計画策定後、広報等による周知と啓発パンフレットの作成など、制度改正をとらえてのPRをおこないました。
評価区分	<A~E> <b>B</b>

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	1回	結果指標量②	14000部
目標値	結果指標量	14000部	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

介護保険事業計画策定及び事業実施状況について、適正なものとなるよう運営委員会において審議、検証していただく。

制度の解説や事業の運営状況について、主に広報紙を活用してPRしていくことになるが、ホームページの充実も図る。特に新規認定者については、支障なくサービス利用につなげられるようなパンフレットを配布する。

制度改正の内容についてPRをおこない、適正な利用が行われるよう啓発していく。